



安城ロータリークラブ 週報  
ROTARY CLUB OF ANJO

●NO. 529 2012/1 第2例会●



2011-2012 RI テーマ

テーマ 『 Let' s Enjoy Rotary 』

- 創立日：S33年1月10日 ●RI加盟認証日：S33年2月6日
- 会長：沓名俊裕 ●会長エレクト：大見 宏 ●副会長：石川 博 ●幹 事：永谷文人
- クラブ会報：神谷 研 寺田孝司 恒川憲一
- 例会日：毎週金曜日 12：30～13：30 ●例会場：碧海信用金庫本店3F／安城市御幸本町15-1
- TEL：0566 - 75 - 8866 ●FAX：0566 -74- 5678
- Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp ●HP：<http://www.anjo-rc.org>

第2670回例会

2012年1月13日(金)12時30分から13時30分  
 司会者：成田孝則君  
 ソング：手に手つないで  
 斉 唱：四つのテスト  
 卓上花：ナデシコ  
 ゲスト：西脇健二様 三河観光株式会社代表取締役  
 (カンボジア井戸掘り添乗)  
 ビジター：杉本知治君 (岡崎)

出席報告

出席委員会 兼松信吾君  
 会員56名 出席義務者45名 出席32名 欠席13名  
 内出席免除者の出席9名 出席率 75.92%  
 修正出席率12月25日第2668回例会100%

会長挨拶 会長 沓名俊裕君

(報告事項)

①1/8(日) 安城市消防出初式



加賀君、横山君、杉山君が関係者として、列席しておられました。加賀君は33年間消防団を務め、その内16年間消防団長として、また横山君も永きにわたり消防団長として、消防団を牽引しておられました。

②1/11(水) 安城地区碧信会新年懇親会

当クラブの福田君が常務理事を務める碧海信用金庫の安城地区碧信会新年懇親会がグランドティアラにて242名が参加し盛大に開催されました。



(あいさつ)

本日の元気印企業の紹介は、どん底からの“ダントツ経営”を掲げる株式会社小松製作所(コマツ)です。取締役会長は坂根正弘氏(さかね まさひろ)71歳です。

同社は、1917年小松鉄工所(1921年小松製作所に)を竹内明太郎氏(めいたろう)(吉田茂の実兄)が創業しました。1931年国産初トラクターを発売、1943年国産初ブルドーザーを発売しました。2005年世界初無人ダンプテストを導入(2007年本格導入)し、2008年世界初のハイブリッド油圧ショベルを発売しました。また坂根正弘氏は1963年に入社し、2001年代表取締役兼CEOに就任し、そして2007年現職の取締役会長に就任しております。

同社の物づくりの基本は“ダントツ商品”の開発と保有です。同社は、企業評価ランキング(日経新聞)において、2001年には231位でしたが、2007年、2008年には連続1位を獲得しています。谷本歩実選手も(柔道：安城市出身)同社の所属です。

2011年3月期現在、売上高1兆8,431億円、経常利益2,198億円、資本金678億円、時価総額1兆8,900億円(東証一部)を保有する超優良企業です。

とはいえ、同社も建設機械事業の収益悪化や半導体材料事業の大失敗(1980年代後半)で大変厳しい経営環境を経験しています。2002年には1,067億円もの膨大な赤字を計上しています。

そんな中、リストラを強行に断行し、しかし開発費は削らず「ダントツ商品」の開発に全社の能力と人材を傾注しました。また、世界に散らばる建設機械などの1台1台のコマツ製品に端末を設置し、各製品の稼働状況をリアルタイムで把握し、部品交換時期を適切に無駄なく提案するようきめ細

案内

国際奉仕活動

1/16～1/19 カンボジア井戸掘り事業

職業奉仕活動

1/22 伊勢神宮特別参拝

かなサービスを提供しています。その結果、2007年には、2,364億円の巨額な黒字を計上するほどのV字回復を成し遂げています。

建設機械においては、国内シェア1位、世界シェア2位（世界シェア35%）を誇っています。「経営の見える化」で高収益目指す経営を常に続けています。コマツが開発した「ダントツ商品」に「無人ダンプ」（オーストラリアの鉱山で活躍）があります。この無人ダンプの巨大さは想像を絶します。そして2008年から2015年までにこの巨大な無人ダンプが150台以上が納入される予定だそうです。



今一つの「ダントツ商品」は「無人地雷除去車」です。カンボジアやコソボなど紛争地域の収束には欠かせない車両です。



さて、本日のまとめですが、ロータリークラブをコマツに例え表現するならば、“ロータリークラブは、強みを磨き、弱みを改革”となると思います。

#### 幹事報告 幹事 永谷文人君

\*1/22 伊勢神宮での特別参拝時は上着・ネクタイ着用でお願いいたします。

\*例会終了後会議室にてクラブアッセンブリーを開催いたします。

\*カンボジア井戸掘り結団式

#### カンボジア井戸掘り結団式



〔参加者〕 写真左から

西脇健二様（添乗）、丸山光夫君、成田孝則君、奥田法行君、富岡里美君、恒川憲一君、沓名俊裕君（会長）、永谷文人君（幹事）、市川護君（国際奉仕委員長）、石川

義典君（写外）

#### 宣言書

「このたび、安城ロータリークラブ2011-2012年度国際奉仕委員会は、奉仕の精神を発揮し、カンボジアにおいて、井戸掘り作業に従事し、きれいな水を提供してきます。そして、ロータリアンとしての、自覚と誇りを胸に真の国際奉仕を学んできます。以上誓います。

平成24年1月13日

安城ロータリークラブ国際奉仕委員長 市川護 』

#### 委員会報告

##### ・国際奉仕委員会 委員長 市川護君

世界大会にR I 第2760地区からチャーター便が出ます。参加できる方は、1月17日までに地区へ報告しますので、事務局へ申し出てください。

##### ・職業奉仕委員会 委員長 小野内宣行君

1月22日の伊勢神宮特別参拝並びに移動例会の集合時間は午前7時45分三河安城駅MAパーク前です。

#### ニコボックス報告 近藤裕保君

本日のニコボックスメッセージの紹介。

#### 卓話

##### ◇年男男女放談(辰年)

・卓話者：加藤弘君 ・永谷文人君・福田雅美君  
内藤教恵君・近藤裕保君・恒川憲一君  
加藤弘君 「保護司国際研修について」



平成9年6月12日～13日に保護司国際研修に出席しました。ヘッドホンをつけて日米同時通訳を体験しました。

法務省を中心に運営している『国際連合アジア極東犯罪防止研修所』通称『アジ研』と言います。

昭和36年創立以来刑事法分野の実務家を受け入れて彼らとアジ研はこれを中核としてアジアの犯罪防止対策で“犯罪無き繁栄”を推進することが主目的として努めているのがこの財団であります。

今回全国で、保護司10名、これは保護司県大会が安城市で開催されました。主催者から、保護司国際研修生を1名選出ということで、会長よりご指名頂きました。



安城ロータリークラブ 週報

# ROTARY CLUB OF ANJO



当時57才です。そして、発展途上国18ヶ国の刑事法分野の研修員に、わが国の保護司制度を理解してもらうことをねらいとしており保護司国際研修の中で、最も重要なプログラムの1つとして開催されています。

## 質問

### 1 住んでいる市町村について

JR東刈谷駅を中心に、安城市、刈谷市、知立市、三市の境に位置します、一見静かな新興住宅街であります。三市の行政に関係なく、事件は発生しております。

### 2 保護司となられたきっかけについて

当時町内会長さんの案内でお受けしました。今思えますと社会に貢献できればと思いました。早いもので今年で28年目となります。

### 3 保護司として活動して良かったと思うこと

イ) 対象者と面接の回数を重ねていくうちに本人がうなずき回答してくれるとき。

ロ) 信頼して色々話をしてくれるようになったとき。

ハ) 人間関係、話し合えば、答えがあることを体験しました。

### 4 保護司として今後の抱負について

本人の良き友達であり、良き指導者でありたい。

### 5 保護司を続ける理由について

将来を担う青少年に対して、人間が原点に戻って考えたとき、これからの人生をどう取り組みをしたら良いか、意見交換などで更正を訴えていきたい。

以上です。 もうちょっとがんばります。

**永谷文人君** 「20年ごとに区切ってみると、そして今後は・・・」



1、60歳になり、今までの人生を20年ごとに区切ってみると、

税務署 20年 (これぞ公務員という仕事ぶりの国税調査官20年)

税理士 20年 (父永谷博茂の基で20年税理士として必死に務めてきた)

プラス・・・?年 (「存在感・安心感」が与えられる税理士になりたい。「行動」に責任を持つ。後継者育成にやや比重を置いて、目線を意識して仕事をやっている。)

2、家族を大切にしたい。

父・母を一人ずつ送ってきています。これからは、妻・子供・娘・息子を大切に家族の絆を深めたい。

3、友人知人

肩の凝らない関係を保っていききたい。

4、健康を大切に

どのように維持していくか?

日々の心遣いが大切である。一に睡眠二に睡眠。ストレスの解消法をいくつも持つことが大切。毎朝4時30までには起床して犬の散歩、18時30分から散歩。睡眠時間は6時間から6時間半はきっちり取るように日々心がけています。

5、趣味

仕事との関係が大切で、仕事がよりやりたくなること、自分自身が満足することを持続することが大切です。以前に絵手紙を紹介しましたが、今温めている趣味がもう一つできそうです。近い将来、卓話で紹介できると思います。乞うご期待。

6、最後に

家族、友人・知人、先輩・後輩、上司・部下、愛人・変人、色々な関係を大事にし、次の厄年までひたすら走り続けます。叱咤・激励のほどお願い申し上げます。

**福田雅美君** 「“辰年”ってどんな年だったかな?」



辰年を「景気がどうであったか」という観点から振り返り、「今年は何?」ということでお話したいと思います。

私の生まれた昭和27年(1952年)は、戦後復興を成し遂げた後の時期で、前年の昭和26年10月より始まった投資・消費景気の成長サイクルに入っていました。そして、12年後の昭和39年(1964年)には、東京オリンピックが開催されました。前年より建設ブームが起こり、オリンピック景気と呼ばれ、この開催年が景気のピークでございました。

次の昭和51年(1976年)は、第二次高度成長期で57ヶ月続いた「いざなぎ景気」の後のオイルショックを経て、(昭和49年、戦後初の経済成長率マイナスを記録したものの、その後、)好況感こそありませんでしたが、景気が上昇局面に入った年でした。

そして、昭和63年(1988年)は、(その2年前より始まり)平成3年まで続いた平成景気、いわゆるバブル時

代で、1988年の12月末、日経平均株価は30,159円、翌年は38,916円の最高値をつけた時代でございました。

次の平成12年(2000年)は、平成9年～11年にかけての証券会社の自主廃業、大手食品商社の倒産、金融機関の破綻等あった戦後最大の不況を経験した後の、わずか1年半でしたが、IT景気と呼ばれた年でありました。

こうして、この60年の中で辰年の景気を振り返って見ますと、一つ言えるのは、“不況と言われる年は無かった”ということです。昨年は3月11日の大震災がございました。今もなお、被災地の方々は苦勞されている状況でございますが、この影響により、昨年4月～6月は、日本経済のボトムと言われ、いったん、回復基調になったという見方もありましたが、又、すぐに景気減速と懸念材料を多く抱えたまま、新しい年を迎えることとなりました。

しかし、申し上げました辰年の景気を見ますと、今年の上昇局面に転じる年だと言えます。又、辰年の“辰”を“龍”として捉えた諺に、“登竜門”という言葉があります。登竜門は、一般に“出世の狭き門”の代名詞として使われていますが、語源をたどると“鯉が滝を登って龍になった”という由来から、“課題や困難を乗り越えて成功する”という意味も込められています。

これらのことを踏まえると、辰年の今年、様々な課題はあるものの、景気は回復に向かい明るい年になると自分自身でそう思い込み、何事もポジティブに取り組み、課題や困難を乗り越えていきたいと考えております。

#### 内藤教恵君 「新規事業立上」 (幹事代読)

新年あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかな新年をお迎えの事と存じます。本年も変わらぬご厚情を頂きますよう、お願いいたします。

本年の干支は「辰」年。私の生まれ年です。しかし私のお誕生日は11ヶ月も先であり、年女でもございますが、慣例でございますので、年男放談させて頂ければと思います。

昨年を振り返りますと、まず3月11日に起こりました東日本大震災は忘れられません。「私でも復旧、復興支援の一助になれば！」と思い立ち、実際に被災地の復興支援ボランティアに参加しました。4月、8月、12月と3度の現地でのボランティア活動を経て、本当にたくさんの経験をさせて頂きました。震災被害の状況を目の辺りにして地震や津波の恐ろしさを知るとともに、復興に向けたひとりの力、優しさやこころの強さ、人と人との絆など、温かい気持もたくさん知ることができました。

この復興支援はまだまだ息の長い活動になると思われまます。社会奉仕として引き続き頑張りたいと思ひます。

次に思い起こすことは、私事ではありますが「どうぶつ病院」の支援と個人開業の準備を始めたこととございます。開業を検討していた獣医さんを支援する形で、この春から「新城どうぶつ病院」の開業支援をすることとなりました。今年には職業奉仕も頑張っていく所存です。

最後になりますが、還暦には「生まれ変わった気持ちでこれからも元気でいてね」という意味もあるようです。本年は生まれ変わった気持ちで、出来る限りの力で、社会奉仕に、職業奉仕に邁進して参りたいと思ひます。

今年も皆さんにとって良き年であることを心からお祈りしております。

#### 近藤裕保君 「辰年に生まれて本当に良かった。」



今年、2月18日に、還暦を迎えることになりました。まだ、感慨に耽るような気分になっておりませんが、「辰年に生まれて本当に良かった。」とつくづく思っております。

昨年、私にとって印象に残る二つの出来事がありました。一つは、ドラゴンズのセリーグ連覇です。地元生まれ育ち、野球少年時代は、将来中日ドラゴンズの選手になる夢を見て練習したものです。

もう一つは、作家の小松左京さんが亡くされました。それで、著書「エスパイ」をこの休みに再読みしました。40年も前に書かれた本とは思えず、今、読んでも新鮮です。

ふと思った事に、昨年の日本シリーズの最終戦で、エスパイ(超能力者)が、あの場面で、ほんのチョットだけ、テレキネシス(念力)を使って、外野フライをホームランにしてくれたり、ピンチで相手のバッターを三振にしてくれれば、シリーズも制覇し、日本一になれたのにと思いました。

そこで、まだ会ったこともない エスパイの方々に、お願い事をいたしたく。

一つ目は、今年、ドラゴン年ですので、中日のセリーグ3連覇と日本一に輝く事です。・・・多分、ほとんど自力で目標達成できると考えておりますが、万が一

の時は、テレパシーで、敵の作戦傍受とテレキネス（念力）による逆転ホームラン、それと最終回の守備では、三者連続三振をお願いします。

二つ目は、私の大好きなゴルフです。私のファーストパットが大きく外れても、2パット目は必ずカップ IN する事です。・・・(切実な願い)

まだ、エスパーにやってもらいたい事があります。それは、日本の未来像です。テレパシーとクリアボアセンス（透視能力）、それとプレコグニション（予知能力）を駆使し、私達がこうあって欲しいと願っている「12年後の辰年の日本の姿」を映し出して頂きたいと思えます。そうすれば、迷わず、そこに向かっていけば良いのだからです。

安城ロータリークラブの皆様が、“いつも明るい辰年となりますよう” 祈念いたしまして、年男放談とさせていただきます。

恒川憲一君 「山本五十六に学ぶ息子との関係」



まず、年男放談、この機会をいただき感謝します。多分、今年還暦を迎える5回目の辰年の節目にあたって、特にそんなに考えてなかったからと思われるからです。とは言え何を話したらいいのか悩みました。

(上映中映画、太平洋戦争70年目の真実 ISOROKU)

彼は帝国海軍連合艦隊司令長官であり、英雄として知られていますが、真実はどうだったのでしょうか？10倍もの国力のある相手に勝てる訳も無く日本が焦土となること避けるため、アメリカとの戦争、三国同盟に反対しながらも、軍令部の反対を押し切り真珠湾攻撃を敢行した。そして一式陸攻でブーゲンビル島視察中、アメリカ軍に傍受され59歳で戦死するまで、早く終結させるための講和の機会をうかがっていた。

彼の人柄、生き様を表わす名言があります。『やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。』

この言葉は自分の今の環境に当てはまります。社員、部下よりも一緒に働く息子達に対してです。わかっているもなかなか難しい。ミッドウエー海戦で現場判断を尊重、空母が壊滅したときですらも南雲中尉を責めなかつ

た。

片や、自分は今まで息子に対しては全くこの逆な対応をしてきたと思います。どこまでやらして任せていいのか？会社の業績に大きく影響するので、その判断は難しいが、今年は上から目線をこらえ、もっと耳を傾け、提案を頭ごなしで否定せず尊重し育てていきたいと思えます。将来事業承継し誰よりも父のこと、会社の将来を本気で考える、信頼できる人間に決まってる訳ですから。

#### 【参考データ】

カンボジア井戸掘り事業のために国際奉仕活動で訪問する地域に所在するロータリークラブの紹介

クラブ名：Angkor

所在地：Cambodia Siem Reap 県 RID3350

例会日：Friday 19：00～

会場：Raffles Grand Hotel, Elephant Bar,

1 Vithei Charles de Gaulie, Khum Svay Dang Kum , Angkor,

Website：http://www.rotaryangkor.com

会長：Sam Hsieh

幹事：Anna Hsieh



#### 【今週の出来事】

仏国債が最上位転落 米S & Pが欧州9カ国の国債格下げ (2012年1月14日中日新聞WEB版より)

米格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ(S & P)は1月13日、ユーロ圏17カ国のうち最高水準の「トリプルA」だったフランスを含む9カ国の長期国債格付けを一斉に引き下げたと発表した。

格下げは、「トリプルA」だったフランスとオーストリアを含む5カ国が1段階、イタリアやスペインなど4カ国が2段階。「トリプルA」のドイツを含む7カ国は据え置いた。今後の見通しは、フランス、スペイン、イタリアなど14カ国を「ネガティブ(弱含み)」とし、さらなる格下げの可能性を示唆した。ギリシャは今回の見直しに含まれていない。